



桜の里／三井恵美子・画



伊東西

会長 稲葉雅之 副会長 市川正樹
幹事 久保田英二

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ポウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定 該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	47	45	39	6		86.7%

IMAGINE ROTARY

多様性 公平さ あらゆる人を歓迎、尊敬

2022～2023年度 R.I.会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2620地区ガバナー 浅原 諒 蔵

2023.3.3 第2076回例会 No.2076

会長挨拶

伊東市内では3つの県立高校が1つに統合され、4月から伊豆伊東高校として生まれ変わります。また、小学校でもやはり3校が統合され、伊東小学校として新たなスタートを切ります。これらをご承知のように、少子化のためにやむを得ず行われることであり、集団社会において少しでも多く学びの効果を上げ、子供たちの将来的利益を確保するための、いわば苦肉の策です。ずるずると少子化が進み、やがてこうなることはわかっていたものの、日本では思い切った有効な対策が講じられないまま現在に至り、慌てて子育て家庭に対する支援を拡大している印象がぬぐえません。それに、経済的な要因によってのみ少子化が進んでいるのではないため、また、出産・子育ての適齢人口が減少してしまっている今となつては、焼け石に水かもしれません。ところで、生物における種の保存とは、自然界においては命がけの競争であります。「子育てにはお金がかかる」。「自分の時間を大切にしたい」。「子育ては大変だ」等を理由に結婚（或いは事実婚）や子供を持つことを抑制する人が多くなっているとすると、価値観は人それぞれだと認めつつも、残念でなりません。戦後の貧



しく、未来に希望が持てるとは言えない不透明な時代であっても、多数が生まれ育ち、今の日本を作ってきたという事実から考えると、現在のほうが恵まれていると思うのは私だけでしょうか。群れ(人類、国家、家族等)の構成個体数が減ると、弱体化し、故によって滅ぼされたり、病原菌流行によって生き残ることができないかもしれません。万が一、子孫を残すことを強く望む個体が減ってきているとすれば、人類存続の危機に至る大問題であるため、『子育て支援金を増額』のようなのんびりした対策をしている場合ではないと思います。

本日の欠席者

東端克博君 佐藤周君 佐藤活也君 稲木孝彦君
増田真啓君 西澤洋一君

幹事報告

- 例会案内でお知らせしましたが、3月14日の合同例会は伊東RCの都合により西RC単独の通常例会へと変更になりました。日程の都合上14日(火)12時30分点鐘、この例会場で行いますので間違えのないようご注意ください。
- 例会の食事ですが次回の例会から旧ル・オールで新しく営業されるラグーンから提供されることになりました。
- 本日例会後、特別室にて理事会を開催します。よろしくお願いいたします。

会員慶事

- 皆出席おめでとう
山本佳洋君 2年

四つのテスト
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

○会員誕生日おめでとう

山本佳洋君 12月

○結婚記念日おめでとう

山本佳洋君 2月



委員会報告

○広報委員会

〈ロータリーの友・3月号〉

20年以上前までは「ロータリーの友」について、担当者がこうやって前に出て記事の紹介などの説明はありませんでした。私が担当だった時に問題になったのは、「ロータリーの友」を皆さん読んでいるか、いや読んでいないんじゃないか、ということでした。どうやったら少しでも多くの記事を多くのメンバーに読んでいただくかということでした。その時に、今のやり方は、かなりのメンバーが「友」を読んでいないということが前提になっています。「友」を読んでもメンバーにとっては「余計なお世話」ということになります。長い間続けてきましたが「友」が読まれていないことを前提にしている今のやり方を続けるか、余計なお世話だからそろそろやり方を見直す時期に来ているか、議論してみたらどうでしょうか。そうはいつでも一つだけ記事・紹介といたします。たて組の4頁「震災から復興へ、発酵で町づくり」これも「余計なお世話」でした。

○国際奉仕委員会

トルコ・シリア救援金報告

会員より44,000円 合計150,000円送金予定

○長期ビジョン委員会

「ファイアーサイドミーティング」

3/23(木) PM6:00～山茶花

テーマ 「どうする伊東西ロータリークラブ」

出席義務者 本年度・来年度理事・委員長

スマイルボックス

齋藤 正就君 たくさんの激励のお言葉ありがとうございます！ 頑張ります。

稲葉雅之君・稲葉衛君・石川和正君・石井幸弘君・稲葉憲一君・飯島崇宏君・市川正樹君・大川起作君・小川嘉洋君・小川久君・土屋順史君・久保田英二君・杉本興一君・野村玲三君・村上恵宏君・梶原幹人君・遠藤英夫君・工藤雅司君・堀口武彦君・田邊喜義君・原幸男君・沼田渉君・牧野隆広

君・齊藤洋君・古谷隆憲君

新入会員の齊藤まさなりさんの卓話です。楽しみにしております。よろしく願い致します。

田邊 喜義君

ラグーンがオープンしたので又食事又コーヒーを飲みにゆけます。

北岡 貴人君

大変おまたせいたしました。今日からラグーンが地元の野菜を使ってレストランとして開店しました。どうぞ、ご利用下さい。

野村玲三君・沼田 渉君

北里柴三郎顕彰碑、CF(クラウドファンディング)おかげさまで達成出来ました。大変ありがとうございました。引き続き年末まで一般募集しますので是非共ご理解下さい。

齊藤 洋君

今日、3月 は結婚記念日です。50周年になります。なんとか生きています。

卓話

担当 齋藤正就君

自己紹介

昭和59年9月23日生まれ(東京)
幼稚園・小学校・中学校(鎌倉)
横浜の高校に進学(湯河原)
都内の大学に進学
和歌山県の神社に奉職
都内の選挙事務所に入所
都内の企業に就職
衆議院議員 秘書
グループ設立 ~ 現在に至る



事業内容

障害福祉サービス ———— 就労継続支援A型事業所
——— 就労継続支援B型事業所
介護保険サービス ———— 訪問入浴介護サービス
別法人 ———— 化粧品製造業

就労継続支援A型事業所とは

障害のある方が一般企業への就職が不安、あるいは困難な場合に、一定の支援がある職場で雇用契約を結んだ上で働くことが可能な福祉サービスのことを言います。勤務形態は基本的に一般就労と変わりませんが、1日の勤務時間が比較的短い点が特徴です。

(担当 堀野泰司)

プログラム予定

3月14日 通常例会(3月17日から移動) 3月24日 休会
3月31日 卓話 稲葉衛君